

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年6月19日	記入者		連絡先	2132
平成18年度部名	企画部	課名	情報システム課統計室	課長名	柳川要造
平成19年度部名	企画部	課名	情報システム課統計室	課長名	増田幸雄
事務事業名	統計グラフコンクール経費				
予算上の事務事業名	統計グラフコンクール経費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		0		
基本目標	#N/A				
政策名	#N/A				
基本施策名	#N/A				
施策名	#N/A				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等 第28回相模原市統計グラフコンクール募集要領					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	啓発・広報・イベント	▼	5 事業開始年度	昭和63年以前	▼
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
児童・生徒への統計思想の普及高揚と統計の表現技術の向上を目的とする。				市内在住・在学の 小・中学生	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
第28回相模原市統計グラフコンクールの開催(18年度)					
応募作品集 1,253点					
応募者数 2,647人					
全校生徒数					
平成18年度 55,767 (児童 38,139 生徒17,832)					
平成17年度 55,767 (児童 38,159 生徒17,608)					
平成16年度 55,621 (児童 38,198 生徒17,423)					
神奈川県統計協会、全国統計協会で統計グラフコンクールを実施しており、相模原市で入賞した作品は、神奈川県統計グラフコンクールでも毎年多くの入賞作品となっている。なお相模原市の応募数は、県全体の応募数の半数近くを占めている。					
8 事業費の推移 [単位：千円]					
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	1,256	1,397	1,239	1,792	1,792
一般財源	1,176	1,217	905	1,479	1,479
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	80	180	334	313	313
人件費の合計	4,093	4,083	3,993	2,904	2,904
事業コスト合計	5,349	5,480	5,232	4,696	4,696
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	統計グラフコンクール経費			対象名称 と単位	応募者数
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	5,349	5,480	5,232	4,696	4,696
対 象 数	2,848	2,711	2,647	2,900	3,100
単位あたり経費(円)	1,878	2,021	1,977	1,619	1,515
前 年 度 比		1.08	0.98	0.82	0.94

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	応募者数		指標式と指標の説明		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	2,848.0	2,711.0	2,647.0		
目標	5,597.0	5,576.0	5,562.0	0.1	0.1
目標達成度（%）	50.9	48.6	47.6		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	グラフコンクールへの応募率		指標式と指標の説明 応募者数 / 対象者数(在籍児童・生徒数) × 100 多くの児童・生徒に統計への関心を持ってもらう。		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	5.1	4.9	4.8		
目標	10.0	10.0	10.0	8.0	8.0
目標達成度（%）	51.0	49.0	48.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [ A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない ]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [ A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない ]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [ A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い ]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [ 有・無 ]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[            ] : 良好な状態を維持する事業				
	[            ] : 概ね良好な状況である事業				
	[            ] : 見直しを行う必要がある事業				
	[            ] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		応募者が減少傾向にあるが、上位入賞作品は、県、国のコンクールにも出品しており、いずれも高い評価を得ており、統計思想の普及や統計の表現技術の向上に役立っていると思われる。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策 応募者が減少傾向にあるが、教育委員会や学校との連携をさらに綿密に図っていく必要がある。			1 5 課題として認識されたこと 学校での取り組みや担当教員の取り組みにより応募者数に影響がある。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
廃止	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		所属長意見にもあるように応募者が減少しており、当初の目的は達した事業と考えられる。また、県でも同様事業を実施しているため、平成20年度をもって事業廃止すること。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・廃止			